

武蔵関駅周辺の交通課題の解消に向けて

主な交通課題



駅利用者が憩い集えるスペースが十分でない



駅直近のバス停が分散し駅から離れている

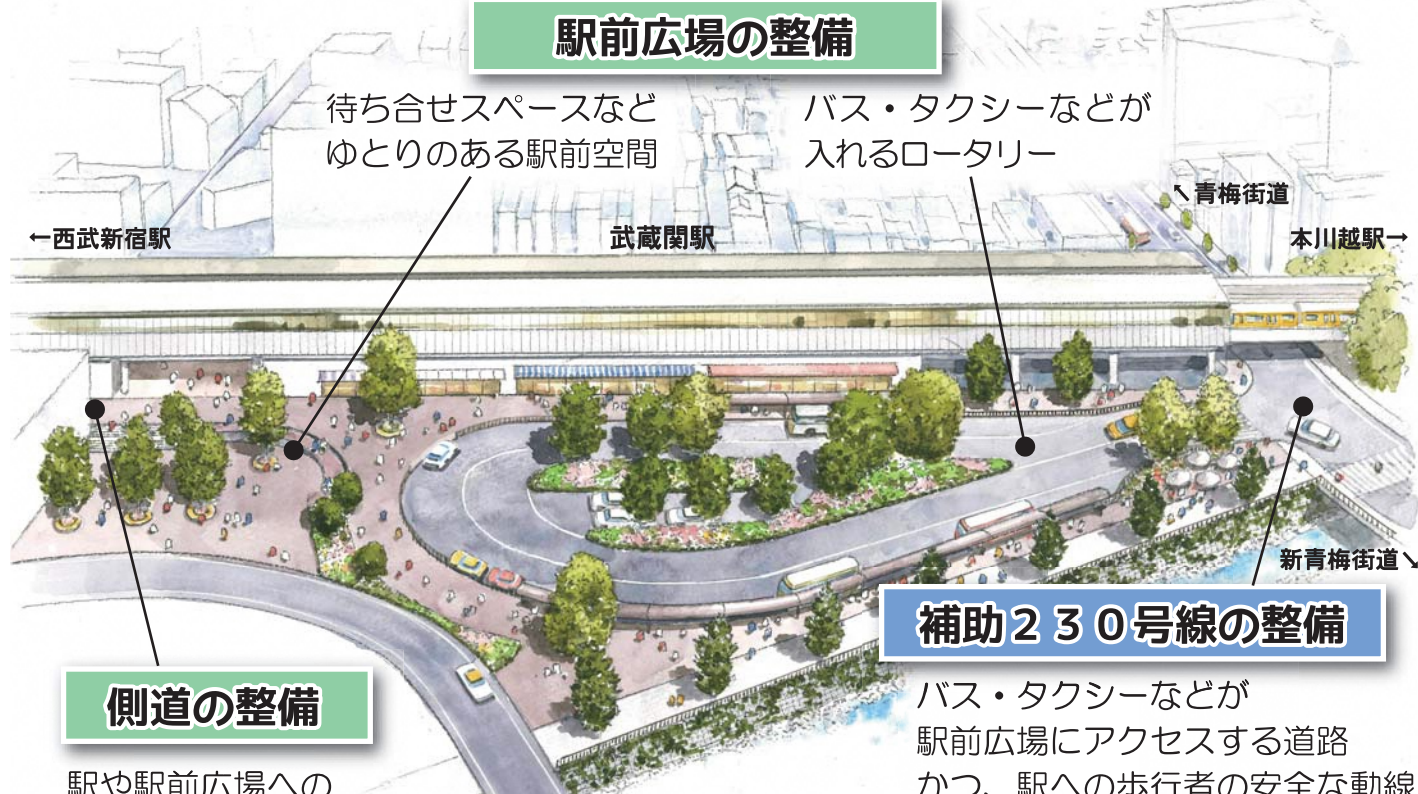


歩道のない通りにバスが多数運行している

連続立体交差化による踏切課題の解消とともに

※イラストは現段階でのイメージです

駅前広場の整備



待ち合せスペースなどゆとりのある駅前空間

バス・タクシーなどが入れるロータリー

側道の整備

駅や駅前広場への歩行者などの安全な動線

補助230号線の整備

バス・タクシーなどが駅前広場にアクセスする道路かつ、駅への歩行者の安全な動線

詳しくはこちらをご覧ください

特集

都市計画道路補助第230号線の整備

【都市計画決定：昭和41年】
【事業認可(予定)：令和4～5年度】

補助230号線は既に都市計画決定されており、安全・快適な駅へのアクセスや、青梅街道と新青梅街道をつなぐための重要な道路です。

- ◇ 路線名 都市計画道路補助第230号線
- ◇ 延長 910m (青梅街道～新青梅街道)
- ◇ 幅員 16m
- ◇ 施行者 練馬区



※道路の位置は概略です

よくある質問

Q. なぜ関町庚申通りがあるのに、補助230号線の整備が必要なの？

- 庚申通りは、現在、歩道のない狭い通りにバス等が行きか、危険な状態です。しかし、沿道に高く堅い建物が建ち並び、拡幅整備に長い期間がかかると予想されます。
- 補助230号線は、計画範囲内の建物の階数や構造などに一定の制限がされており、比較的短い期間で安全な動線を整備できると考えています。



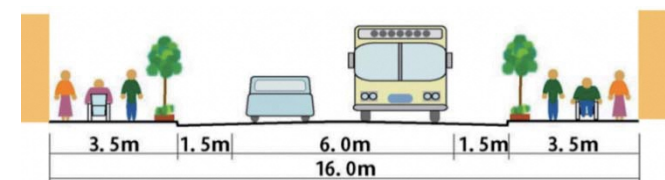
Q. 事業の流れやスケジュールについて、詳しく聞ける機会がありますか？

- 今後行う用地折衝や工事の前にはそれぞれ(説明会)を行います。また、不明な点は担当までお問合せください。

歩道は、電線類を地中化し樹木を配置するなど、景観にも十分配慮しています

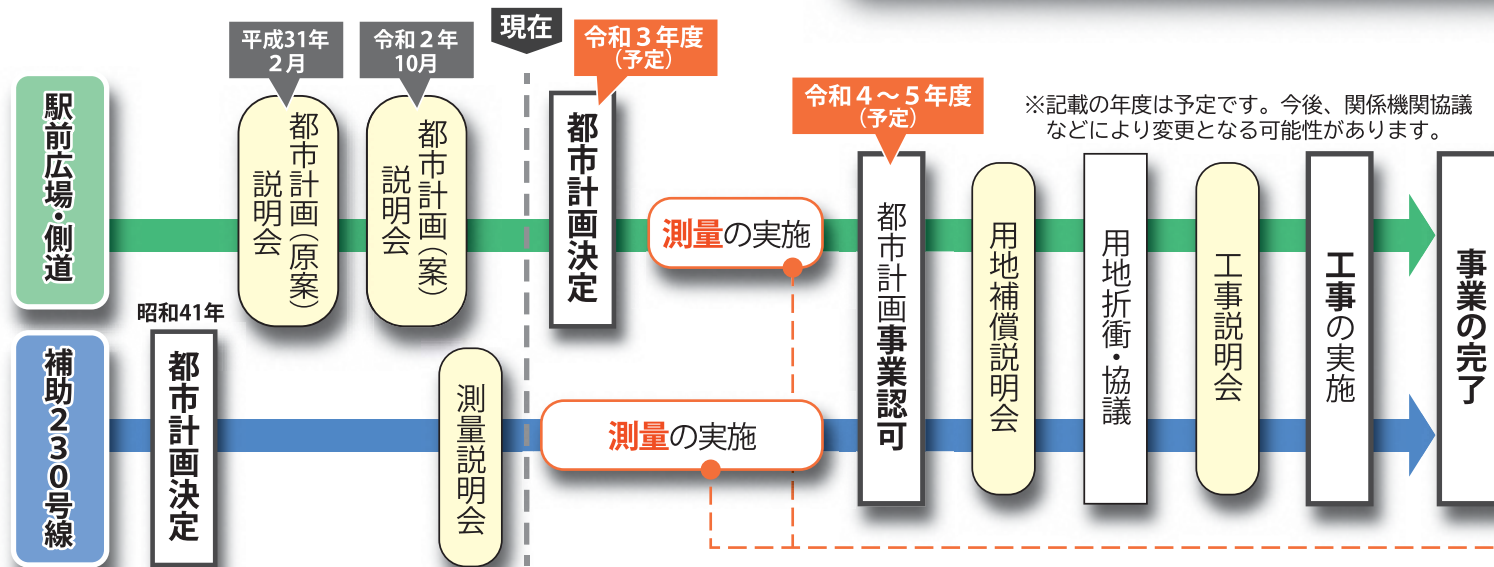


整備事例：都市計画道路補助第132号線(幅員16m、石神井町二丁目付近)



参考：補助230号線 断面イメージ図

連続立体交差化計画とあわせて駅前広場および側道、補助230号線の整備を進めていきます！



※記載の年度は予定です。今後、関係機関協議などにより変更となる可能性があります。

測量とは？

測量には『現況測量』と『用地測量』があります。

現況測量

計画道路内や周辺の現況(建物、樹木、塀および道路等の形状)を調査する測量です。

用地測量

用地取得の対象となる土地について、周辺の土地との境界を確認し、取得させていただく面積を確定する測量です。

